

# 大吉原展

大吉原展

会期：2024年3月26日(火)～5月19日(日)

前期：3月26日(火)～4月21日(日)

後期：4月23日(火)～5月19日(日)

東京藝術大学大学美術館

主催：東京藝術大学、東京新聞、テレビ朝日

特別協力：台東区立下町風俗資料館、千葉市美術館

輸送協力：日本航空、日本貨物航空

後援：台東区

助成：藝大フランス賛助金

## 【凡例】

■各作品について、作者等、作品名、制作年／時代、所蔵、図録番号、展示期間の順に列記しています。

■図録番号は、展覧会公式図録の番号と一致しますが、展示の順序とは一致しません。

■作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、展示作品や展示期間に変更が生じる場合があります。

■作品名及びその解説にあたっては、現在では人権擁護の観点から適切とは言えない用語を用いていると

みなされる場合がありますが、その作品の制作時における社会認識や価値観を示すものとして取り扱いました。

## 【鑑賞される皆様へ】

■再入場はご遠慮願います。 ■展示品、展示ケースには触れないでください。

■会場内での模写ならびにビデオ撮影はできません。

一部撮影許可スペースを除き、写真撮影はできません。

■万年筆および毛筆など、展示品を汚す可能性がある用具のご使用はご遠慮願います。

■会場内での携帯電話のご使用はお控えください。

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
----	-----	--------	----	------	------

## 第一会場 1-0

地下2階

福田美蘭	大吉原展	令和6年(2024)	作家蔵	228	通期
------	------	------------	-----	-----	----

## 第一会場 1-1 吉原入門

地下2階

歌川広重	「東都名所新吉原五丁町弥生花盛全図」	天保(1830～44)頃	東京都江戸東京博物館	72	前期
志満山人(歌川国信(初代)) 撰	「案内吉原雙六」	文化11年(1814)～天保(1830～44)頃	東京都江戸東京博物館	73	後期
歌川国信(初代) 画					
勝川春潮	吉原仲の町図	寛政(1789～1801)前期	大英博物館	77	通期
鳥居清長	「新吉原江戸町二丁目丁子屋之図」	天明(1781～89)頃	大英博物館	81	通期
歌川国貞	「青楼二階之図」	文化10年(1813)	大英博物館	84	通期
歌川豊春	新吉原春景図屏風	天明(1781～89)後期～寛政(1789～1801)前期	個人蔵	76	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 卯の刻	寛政6(1794)頃	川崎・砂子の里資料館	135	後期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 辰の刻	寛政6(1794)頃	川崎・砂子の里資料館	136	前期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 巳の刻	寛政6(1794)頃	大英博物館	137	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 午の刻	寛政6(1794)頃	太田記念美術館	138	後期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 未の刻	寛政6(1794)頃	大英博物館	139	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 申の刻	寛政6(1794)頃	川崎・砂子の里資料館	140	前期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 酉の刻	寛政6(1794)頃	大英博物館	141	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 戌の刻	寛政6(1794)頃	たばこと塩の博物館	142	前期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 亥の刻	寛政6(1794)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	143	後期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 子の刻	寛政6(1794)頃	大英博物館	144	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 丑の刻	寛政6(1794)頃	大英博物館	145	通期
喜多川歌麿	青楼十二時 続 寅の刻	寛政6(1794)頃	川崎・砂子の里資料館	146	前期

## 第二会場 2-1 江戸前期 武家と豪商たちの遊興

地下2階

	吉原さいけんの図	貞享(1684～88)初期	東京都江戸東京博物館	2	前期
	新吉原細見図(絵図)	元禄4年(1691)	東京都江戸東京博物館	3	後期
伝 古山師重	吉原風俗図屏風	江戸時代 17～18世紀	奈良県立美術館	10	前期
	吉原風俗図屏風	元禄(1688～1704)～宝永(1705～11)	奈良県立美術館	11	後期
	『吉原はやり小哥そうまくり』	文政2年(1819) *元板は万治3年(1660)	東京藝術大学附属図書館	6	通期(場面替え)
菱川師宣	『江戸雀』第十巻	延宝5年(1677)	千葉市美術館	4	通期
石川流宣	『評判 吉原七福神』	正徳3年(1713)	東京都江戸東京博物館	5	通期(場面替え)
楸形蕙斎 画 / 大田南畝 賛	遊女と侍図	文化(1804～18)末頃	滴水軒記念文化振興財団(千葉市美術館寄託)	1	後期
菱川師宣	北楼及び演劇図巻	江戸時代 17世紀後半	東京国立博物館	9	前期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
	吉原遊興図屏風	延宝(1673~81)後期~天和(1681~84)	奈良県立美術館	8	前期
菱川師平	春秋遊楽図屏風	元禄(1688~1704)前期	出光美術館	7	後期
英一蝶	吉原風俗図巻	元禄 16 年(1703)頃	サントリー美術館	12	通期(場面替え)
川又常正	青楼遊客図	江戸時代 18 世紀	板橋区立美術館	14	前期
宮川一笑	吉原風俗図	元文(1736~41)頃	千葉市美術館	13	後期
	白綾子地石畳将棋模様小袖	江戸時代 17 世紀	根津美術館	17	3/26 - 4/7
菱川師胤	中村竹三郎・三浦屋小紫図	享保元年(1716)頃	千葉市美術館	166	4/9-5/19
菊池容斎	雨中太夫道中図・揚屋差紙	江戸時代 19 世紀	京都府(京都文化博物館管理)	15	後期
	衣裳人形 遊里通い(大尽・仲居・奴)	江戸時代 18 世紀	東京国立博物館	16	通期

## 第二会場 2-2 蔦屋重三郎と吉原の出版界

地下 2 階

蔦屋重三郎(出版)	『吉原細見』	寛政元年(1789)	台東区立中央図書館	108	前期
蔦屋重三郎(出版)	『吉原細見』	寛政 4 年(1792)	台東区立中央図書館	109	前期
蔦屋重三郎(出版)	『吉原細見記』	寛政 9 年(1797)	台東区立中央図書館	110	後期
北尾政演(山東京伝)	『吉原傾城新美人合自筆鏡』	天明 4 年(1784)	千葉市美術館	111	通期(場面替え)
竹杖為軽 著 / 喜多川歌麿 画	『従夫以来記』	天明 4 年(1784)	たばこと塩の博物館	112	通期(場面替え)
北尾政美(楸形蕙斎)	「浮絵東都新吉原夕暮之景」	天明(1781~89)頃	神奈川県立歴史博物館	113	後期
北尾重政・勝川春章 画	『青楼美人合姿鏡』	安永 5 年(1776)	東京藝術大学附属図書館	107	通期

## 第二会場 2-3 錦絵美人画

地下 2 階

鳥文斎栄之	「曙六花撰 喜撰法師」	寛政 8~10 年(1796~98)頃	大英博物館	23	通期
鳥文斎栄之	「青楼美撰合 初買座敷之図 扇屋瀧川」	寛政 6 年(1794)頃	大英博物館	24	通期
鳥文斎栄之	「若那初衣裳 かなや内ときわきはるのときわ」	寛政 6 年(1794)頃	大英博物館	25	通期
鳥文斎栄之	「松葉屋新宅見世開 なか川にほのいそち」	寛政 7 年(1795)頃	大英博物館	26	通期
鳥高斎栄昌	春駒	寛政 5~6 年(1793~94)頃	大英博物館	27	通期
喜多川歌麿	「青楼七小町 扇屋内瀧川 男なみ 女なみ」	寛政 6 年(1794)~文化 2 年(1805)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	18	前期
喜多川歌麿	「青楼六家選 松葉屋粧ひ」	享和元~2 年(1801~02)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	19	後期
喜多川歌麿	「松葉屋内瀧川 市川(相撲人形)」	享和元~2 年(1801~02)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	20	前期
喜多川歌麿	「青楼遊君合鏡 岡本屋内志那照・佐屋形」	寛政(1789~1801)後期	東京都江戸東京博物館	21	後期
喜多川歌麿	「青楼七小町 玉屋内花紫 せきやてりは」	寛政 6 年(1794)頃	千葉市美術館	22	前期

## 第二会場 2-4 後期江戸吉原 格式と大衆化

地下 2 階

勝川春章	竹林七妍図	寛政元~4 年(1789~92)頃	東京藝術大学	28	後期
勝川春章	吾妻風流図	天明元年(1781)頃	東京藝術大学	29	前期
窪俊満 画 / にほてる 賛	太夫道中図	天明(1781~89)頃	出光美術館	158	前期
喜多川歌麿	納涼美人図	寛政 6~7 年(1794~95)頃	千葉市美術館	212	後期
勝川春章	遊里風俗図	天明 7~8 年(1787~88)頃	出光美術館	31	前期
勝川春章 画 / 大田南畝 賛	遊女と燕図	江戸時代 18 世紀	東京国立博物館	30	後期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
歌川豊春	四季三遊里風俗図	寛政7年(1795)	個人蔵	32	前期
歌川豊春 画 / 谷文晁 賛	吉原遊女図	天明(1781~89)~寛政(1789~1801)	東京都江戸東京博物館	33	後期
水野廬朝	桜下美人図	文化13年(1816)	出光美術館	34	後期
歌川国貞	芝居町 新吉原 風俗絵鑑	江戸時代 19世紀	静嘉堂文庫美術館	35	通期(場面替え)

## 第二会場 <sup>2-5</sup> 天明狂歌の世界

地下2階

太田南畝 著 / 三井丹丘 画	『狂歌略画三十六ヶ撰』	天明3年(1783)	東京藝術大学附属図書館	114	通期
宿屋飯盛 編 / 北尾政演 画	『古今狂歌袋』	天明7年(1787)	東京藝術大学附属図書館	115	通期
宿屋飯盛 編 / 北尾政演 画	『吾妻曲狂歌文庫』	天明6年(1786)	千葉市美術館	116	通期(場面替え)
葛飾北斎	馬尽 轡町	文政5年(1822)	千葉市美術館	117	前期
黒河春村 撰 / 鈴木其一 戯画	『紅叢紫籙』	天保6年(1835)	東京藝術大学附属図書館	132	通期
酒井抱一	遊女と禿図	寛政(1789~1801)頃	東京国立博物館	118	前期
酒井抱一	吉原月次風俗図 六月 富士参り	江戸時代 18~19世紀	細見美術館	119	前期
酒井抱一	吉原月次風俗図 十一月 酉の市	江戸時代 18~19世紀	細見美術館	120	後期
鈴木其一 画 / 酒井抱一 賛	文読む遊女図	江戸時代 19世紀	細見美術館	121	後期
鍋木清方	雨華庵風流	昭和25年(1950)	鎌倉市鍋木清方記念美術館	133	通期
	衣裳人形 吉原狐舞	江戸時代 19世紀	東京国立博物館	122	通期

## 第二会場 <sup>2-6</sup> 吉原の近代

地下2階

小林永濯	遊女図	明治時代 19世紀	大英博物館	36	通期
河鍋暁斎	吉原遊宴図	明治12~22年(1879~89)	河鍋暁斎記念美術館	37	前期
河鍋暁斎	文読む美人図	明治21年(1888)頃	河鍋暁斎記念美術館	38	後期
落合芳幾	「よし原十二月のうち 文月 稲本楼小稲」	明治2年(1869)	山口県立萩美術館・ 浦上記念館	39	後期
落合芳幾	「全盛自筆三十六花撰 稲本楼姉 染之助 妹薄衣」	明治2年(1869)	台東区立下町風俗資料館	40	前期
高橋由一	花魁	明治5年(1872)	東京藝術大学	41	通期
	「美人十二月 吉原の桜 三月」	明治24年(1891)	東京都江戸東京博物館	48	前期
	「東京名所 浅草公園 吉原芸妓富次」	明治24年(1891)	東京都江戸東京博物館	49	後期
歌川国貞(三代)	「官許 博覧会開業ノ図 新吉原営」	明治8年(1875)	たばこと塩の博物館	42	前期
落合芳幾	「新吉原角街稲本楼ヨリ仲之街仁 和賀 一覽之図」	明治時代 19世紀	神奈川県立歴史博物館寄託	43	前期
落合芳幾	「新吉原仲之町図 全盛遊二和賀 之眺望」	明治時代 19世紀	神奈川県立歴史博物館寄託	44	前期
豊原国周	「新吉原江戸町一丁目 金瓶楼上図」	明治時代 19世紀	神奈川県立歴史博物館寄託	45	後期
豊原国周	「新吉原俄獅子之図」	明治5年(1872)	神奈川県立歴史博物館寄託	46	後期
	「甲子楼長尾 稲本楼小稲 金瓶 楼今紫 松本楼しづか 玉楼花紫」	明治時代 19世紀	神奈川県立歴史博物館寄託	47	後期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
歌川国貞(三代)	『官許 博覧会開業ノ図 新吉原営』	明治 8 年(1875)	たばこと塩の博物館	42	前期
G. F. ビゴー	『MA-TA』	明治 17 年(1884)	千葉市美術館	50	通期(場面替え)
J. E. デベッカー	『ザ・ナイトレス・シティ 不夜城』	明治 38 年(1905) *初版明治 32 年(1899)	個人蔵	51	通期
A. アンペール	大名の吉原遊興(『幕末日本図絵』挿絵)	明治 3 年(1870)	東京都江戸東京博物館	52	前期
	写真絵葉書 新吉原 仲之町通り	明治 40 年(1907)~大正 7 年(1918)頃	台東区立下町風俗資料館	53	前期
	写真絵葉書 新吉原 江戸町一丁目大文字楼	明治 40 年(1907)~大正 7 年(1918)頃	台東区立下町風俗資料館	54	後期
	写真絵葉書 東京名所 吉原	明治 40 年(1907)~大正 7 年(1918)頃	台東区立下町風俗資料館	55	前期
	写真絵葉書 新吉原遊女の日	明治 40 年(1907)~大正 7 年(1918)頃	台東区立下町風俗資料館	56	後期
	引付(其二)				
	格子ごしに並ぶ遊女(幻燈原板)	明治時代 20 世紀	東京都江戸東京博物館	57	後期
	吉原芸者(幻燈原板)	明治時代 20 世紀	東京都江戸東京博物館	58	前期
	『吉原上等美人』	明治時代 19 世紀	台東区立下町風俗資料館	59	通期(場面替え)
	写真絵葉書 新吉原花魁道中稲本楼(小紫)	大正 3 年(1914)	台東区立下町風俗資料館	60	通期
	写真絵葉書 新吉原花魁道中 角海老楼(白縫)	大正 3 年(1914)	台東区立下町風俗資料館	61	通期

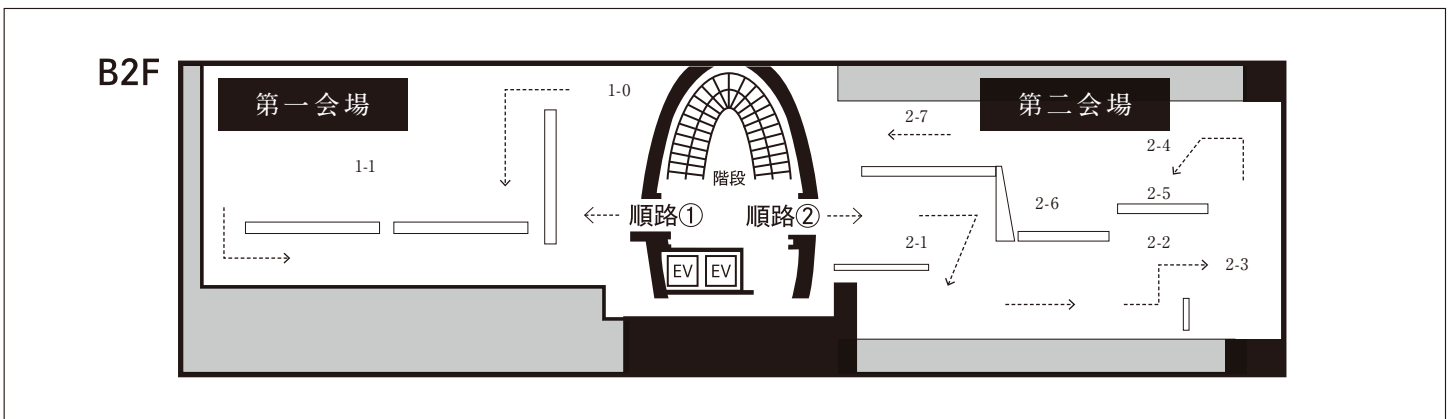
第二会場 2-7 『たけくらべ』の世界

地下 2 階

木村莊八	たけくらべ	大正~昭和初期 20 世紀	東京藝術大学	62	通期
鍋木清方	一葉女史の墓	明治 35 年(1902)	鎌倉市鍋木清方記念美術館	63	前期
鍋木清方	たけくらべの美登利	昭和 15 年(1940)	京都国立近代美術館	64	通期
鍋木清方	一葉	昭和 15 年(1940)	東京藝術大学	65	後期

会場マップ・順路 / 第一会場, 第二会場

東京藝術大学大学美術館



# 大 吉 原 展

大吉原展

会期：2024年3月26日(火)～5月19日(日)  
前期：3月26日(火)～4月21日(日)  
後期：4月23日(火)～5月19日(日)  
東京藝術大学大学美術館

主催：東京藝術大学、東京新聞、テレビ朝日  
特別協力：台東区立下町風俗資料館、千葉市美術館  
輸送協力：日本航空、日本貨物航空  
後援：台東区  
助成：藝大フレンズ賛助金

【凡例】

- 各作品について、作者等、作品名、制作年／時代、所蔵、図録番号、展示期間の順に列記しています。
- 図録番号は、展覧会公式図録の番号と一致しますが、展示の順序とは一致しません。
- 作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、展示作品や展示期間に変更が生じる場合があります。
- 作品名及びその解説にあたっては、現在では人権擁護の観点から適切とは言えない用語を用いているとみなされる場合がありますが、その作品の制作時における社会認識や価値観を示すものとして取り扱いました。

【鑑賞される皆様へ】

- 再入場はご遠慮願います。 ■展示品、展示ケースには触れないでください。
- 会場内での模写ならびにビデオ撮影はできません。
- 一部撮影許可スペースを除き、写真撮影はできません。
- 万年筆および毛筆など、展示品を汚す可能性がある用具のご使用はご遠慮願います。
- 会場内での携帯電話のご使用はお控えください。

作者 作品名 制作年／時代 所蔵 図録番号 展示期間

第三会場 3-1 市中から吉原へ 3階

三浦宏	猪牙船、屋根船	昭和時代 20世紀	個人蔵		通期(参考出品)
伝 狩野探常	浅草吉原図巻	江戸時代 17世紀末～18世紀初	奈良県立美術館	67	通期(場面替え)
鳥文斎栄之	三福神吉原通い図巻	文政(1818～30)前期	千葉市美術館	68	通期(場面替え)
歌川広重	「名所江戸百景 浅草川首尾の松御殿河岸」	安政4年(1857)	東京藝術大学	66	通期
歌川広重	「名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景」	安政4年(1857)	東京藝術大学	69	通期
歌川広重	「名所江戸百景 よし原日本堤」	安政4年(1857)	東京藝術大学	70	通期
溪斎英泉	「江戸八景 吉原夜の雨」	天保14年～弘化4年(1843～47)	東京都江戸東京博物館	71	前期
歌川豊国(初代)	「浮絵新吉原夜遊之図」	寛政(1789～1801)頃	足立区立郷土博物館	74	前期
歌川広重	「東都名所 吉原仲之町夜桜」	天保元年～5年(1830～34)	足立区立郷土博物館	75	後期

第三会場 3-2 江戸町一丁目 花見 大見世 3階

菊川英山	花魁図	文化(1804～18)頃	千葉市美術館	192	後期
溪斎英泉	吉原要事 廊の四季志 正月大こく まい・玉屋内濃紫	文政6年(1823)頃	千葉市美術館	193	前期
鳥居清長	雛形若菜の初模様 あふきや内遠路 里次 浦次	天明4年(1784)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	194	後期
喜多川月磨	志喜初の図 三浦屋内 高尾座舗の跡	文化元年(1804)頃	たばこと塩の博物館	195	前期
歌川豊国	桜時の吉原仲之町	寛政(1789～1800)頃	大英博物館	199	通期
喜多川歌麿	吉原の花	寛政5年(1793)頃	ワズワース・アテネウム美術館	196	通期
歌川国貞	桜下吉原仲之町賑之図	江戸時代 19世紀	川崎・砂子の里資料館	200	通期(場面替え)
孟城斎五郷	「てう子屋美さ山、松葉屋わかな あふき屋うちとふ知」	天明7年(1787)頃	大英博物館	198	通期
喜多川歌麿	「吉原仲の町」『普賢像』	寛政2年(1790)	たばこと塩の博物館	197	前期
伝 歌川豊春	新吉原玉屋の張見世図屏風	天明2年～6年(1782～86)	大英博物館	85	通期
栄松斎長喜	一文字屋店先	寛政(1789～1801)頃	たばこと塩の博物館	78	前期
喜多川歌麿	「松葉屋 唐琴 やよい あけは」	享和(1801～04)～文化(1804～18)初期	たばこと塩の博物館	79	後期
菊川英山	「玉屋内花岡 はかの にしき 千秋 つるち かめの 吾妻 つまは つまい」	文化(1804～18)後期	たばこと塩の博物館	86	前期
喜多川歌麿	扇屋十二美人張見世	文化3年(1806)	たばこと塩の博物館	87	後期

第三会場 3-3 揚屋町 茶屋から妓楼へ 3階

十返舎一九 著 / 喜多川歌麿 画	『吉原青楼年中行事』(下巻)	享和4年(1804)初版	東京藝術大学附属図書館	92	通期
十返舎一九 著 / 喜多川歌麿 画	『吉原青楼年中行事』(上巻・下巻)	享和4年(1804)初版	たばこと塩の博物館	191	通期(場面替え)
石川雅望 著 / 魚屋北溪 画	『北里十二時』	文化～文政(1804～30)	たばこと塩の博物館	80	通期(場面替え)
歌川豊春	「浮絵新吉原惣仕舞之図」	安永(1772～81)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	95	前期
鳥居清満	「浮絵新吉原紋日図」	寛延(1748～51)～明和(1764～72)初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	96	後期
栄松斎長喜	遊郭善玉悪玉	寛政(1789～1801)頃	たばこと塩の博物館	97	前期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
喜多川歌麿	積物前の遊女	寛政7年(1795)	千葉市美術館	98	後期
古山師政	吉原遊興図	元文(1736~41)~寛保(1741~44)頃	千葉市美術館	93	前期
歌川豊春	芸妓と嫖客図	寛政(1789~1801)前期	出光美術館	177	後期
葛飾北斎	吉原妓楼の図	文化8年~10年(1811~13)	山口県立萩美術館・浦上記念館	82	前期
葛飾北斎	吉原妓楼の図(明治版)	明治時代 19世紀	川崎・砂子の里資料館	83	後期
歌川国貞	「青楼見立七福神」	文政(1818~30)頃	たばこと塩の博物館	94	前期

第三会場 <sup>3-4</sup> 京町一丁目 大文字屋サロン

3階

酒井抱一	大文字屋市兵衛像	江戸時代 18~19世紀	板橋区立美術館	123	通期
大田南畝	『仮名世説』下巻	文政8年(1825)	個人蔵		通期(参考出品)
酒井抱一	雪花月扇面画賛文台	文化7年(1810)	細見美術館	131	通期
喜多川歌麿	「大文字屋内ひと本せんくわく ばんき」	寛政(1789~1801)後期~文化2年(1805)頃	たばこと塩の博物館	125	前期
酒井抱一 / 小鶯女史	紅梅図	文化7年(1810)	細見美術館	127	後期
溪斎英泉	「傾城道中双婁 見立吉原五十三対 大磯 大文字屋本津枝」	天保(1830~44)初期	神奈川県立歴史博物館	128	前期
歌川国貞 画 / 一元 賛	花魁図	文政(1810~1830)前期頃	千葉市美術館	126	前期
歌川国貞	「当世春景色 新吉原大文字屋内一もと」	文政(1818~30)中期	山口県立萩美術館・浦上記念館	130	後期
北尾政演(山東京伝)	『青楼名君自筆集』 大もんしや ひともと たか袖	天明4年(1784)	神奈川県立歴史博物館	124	前期
溪斎英泉	「吉原要事廓の四季志 大文字屋内 誰袖」	天保(1830~44)初期	神奈川県立歴史博物館	129	後期

第四会場 <sup>4-1</sup> 第四会場 江戸風俗人形

3階

辻村寿三郎・三浦宏・ 服部一郎	江戸風俗人形	昭和56年(1981)	台東区立下町風俗資料館	91	通期
[原本]山東京伝 詞書 歙形蕙斎 画	吉原十二時絵詞(模本)	文久元年(1861)	東京藝術大学	134	通期(場面替え)

第三会場 <sup>3-5</sup> 京町二丁目 玉菊燈籠、八朔

3階

鳥高齋栄昌	角たまや内 こむらさき 花むらさき 若むらさき	寛政10年(1798)頃	川崎・砂子の里資料館	201	前期
喜多川歌麿	「五節花会せ あふきや内 つかさ」	寛政9年(1797)頃	たばこと塩の博物館	202	前期
十返舎一九 著 / 喜多川歌麿 画	『吉原青楼年中行事』(上巻)	享和4年(1804)初版	東京藝術大学附属図書館	92	通期
十返舎一九 著 / 喜多川歌麿 画	『吉原青楼年中行事』(上巻・下巻)	享和4年(1804)初版	たばこと塩の博物館	191	通期(場面替え)
齋藤幸雄(長秋) 著	「新吉原仲之町八朔図」	天保7年(1836)	東京藝術大学附属図書館	210	通期
長谷川宗秀(雪旦) 画	『江戸名所図会』第一七冊 伝 玉菊使用三味線	江戸時代 18世紀	早稲田大学演劇博物館	205	通期
岡野知十	玉菊餘興	大正15年(1926)	個人蔵	206	通期
歌川豊春	浮絵和国景跡新吉原中ノ町之図	安永(1772~81)初期	川崎・砂子の里資料館	207	前期
鳥居清長	江都八景 青楼秋燈	天明(1781~89)前期	たばこと塩の博物館	203	後期
山東京伝	霊祭の美人	江戸時代 18~19世紀	太田記念美術館	204	前期
歌川広重	八朔太夫図(八朔の遊女図)	江戸時代 19世紀	奈良県立美術館	208	後期
並木五瓶 作 / 栄松齋長喜 画	八朔白無垢	寛政7年(1795)	台東区立中央図書館	209	通期(場面替え)
歌川国貞	江戸新吉原八朔白無垢の図	文化元年(1804)	神奈川県立歴史博物館	211	後期
喜多川歌麿	「吉原妓楼の月見」『狂月望』	寛政元年(1789)	太田記念美術館	213	後期

第三会場 <sup>3-6</sup> 俄、吉原芸者、花魁の教養

3階

喜多川歌麿	「青楼仁和嘉 二の替り」	享和(1801~1804)頃	神奈川県立歴史博物館	214	後期
歌川広重	「東都名所之内 新吉原仁和歌之図」	天保(1830~44)頃	たばこと塩の博物館	215	前期
喜多川歌麿	「青楼仁和嘉芸者部大万度 荻江 おい竹次」	天明3年(1783)	山口県立萩美術館・浦上記念館	216	前期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
喜多川歌麿	「青楼仁和嘉女芸者之部 唐人獅子角力」	寛政5年(1793)	大英博物館	217	通期
勝川春山	午とし仁和嘉 花の廓鹿嶋之寿	寛政10年(1798)	神奈川県立歴史博物館	218	後期
鳥居清長	「青楼仁和嘉尽二日め名賀哥 里月恋名取」	天明3年(1783)頃	神奈川県立歴史博物館	219	前期
勝川春山	「青楼万歳俄」	天明(1781~89)~寛政(1789~1801)頃	東京都江戸東京博物館	220	後期
磯磨	「新吉原仁和嘉 女芸者之部 伊達模様 五ツ雁」	文化(1804~18)初期	神奈川県立歴史博物館	221	後期
歌川国貞	美人合 俄	文政(1818~30)末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	222	前期
喜多川歌麿	吉原俄 荻江松蔵 いと 峰	寛政(1789~1801)頃	大英博物館	176	通期
鴉鳩斎栄里	芸妓図	寛政(1789~1801)後期	板橋区立美術館	178	前期
溪斎英泉	契情道中双縁 見つけ	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	179	後期
扇屋 瀧橋	和歌懐紙	寛政11年(1799)	個人蔵	147	通期
鈴木春信	『絵本青楼美人合』第二巻	明和7年(1770)	たばこと塩の博物館	148	通期(場面替え)
北尾重政・勝川春章 画	『青楼美人合姿鏡』	安永5年(1776)	東京藝術大学附属図書館	107	通期(場面替え)
鳥文斎栄之	「青楼美人六花仙 松葉や若那」	寛政6年(1794)頃	大英博物館	150	通期
藤磨	遊君立花図	文化(1804~18)前期	奈良県立美術館	149	後期
磯田湖龍齋	「雛形若菜の初模様 大かなや内なをえ」	安永(1772~81)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	151	前期
溪斎英泉	「姿海老屋楼上之図」	文政11年(1828)頃	千葉市美術館	152	後期
溪斎英泉	「契情道中双縁 大津 見立よしはら 五十三つみ 佐野松屋内 大里」	文政8年(1825)	千葉市美術館	153	前期
溪斎英泉	「契情道中双縁 坂の下 見立よしはら 五十三つみ 佐野松屋内 桂木」	文政8年(1825)	千葉市美術館	154	後期
歌川豊国(三代)[国貞]	「十二月ノ内臈月 生花会」	安政元年(1854)	太田記念美術館	155	前期
	吉原門鑑六枚つなぎたばこ盆	制作年不明	たばこと塩の博物館	99	通期
	月に蝙蝠透し彫り提げたばこ盆	制作年不明	たばこと塩の博物館	100	通期
磯田湖龍齋 画 / 花扇 賛	遊戯図	天明(1781~89)頃	千葉市美術館	156	前期
菊川英山 画 / 七代目玉楼	遊女白玉図	文政(1818~30)前期	奈良県立美術館	157	後期
しら玉 賛 / 十二代目市村					
羽左衛門 賛					
北尾政演(山東京伝)	「青楼名君自筆集 あふぎや 滝川花扇」	天明4年(1784)	神奈川県立歴史博物館	159	前期
北尾政演(山東京伝)	「青楼名君自筆集 まつかねやうち 東家 九重」	天明4年(1784)	神奈川県立歴史博物館	160	後期
北尾政演(山東京伝)	「青楼名君自筆集 角玉屋 濃紫 花紫」	天明4年(1784)	神奈川県立歴史博物館	161	前期
北尾政演(山東京伝)	「青楼名君自筆集 てうしや ひなつる てう山」	天明4年(1784)	神奈川県立歴史博物館	162	後期

第三会場<sup>3-7</sup> 江戸町二丁目 遊女のよそおい、切り見世、よそ行き、雪の吉原

3 階

西村藐庵 著 / 鈴木其一画	『花街漫録』	文政8年(1825)	東京藝術大学附属図書館	163	通期(場面替え)
西川祐信	『正徳ひな形』	正徳3年(1713)	東京藝術大学附属図書館	164	通期(場面替え)
鈴木春信	『絵本青楼美人合』第四巻	明和7年(1770)	千葉市美術館	165	通期(場面替え)
歌川豊国(初代)	花魁立姿図	文化(1804~18)	川崎・砂子の里資料館	167	後期
磯田湖龍齋	「雛形若菜の初模様 あふぎや内 夕はる」	安永6~7年(1777~78)	足立区立郷土博物館	168	後期
磯田湖龍齋	「雛形若菜の初模様 蔦屋内しほきぬ」	安永(1772~81)後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	169	後期
溪斎英泉	「新吉原全盛七軒人 松葉屋内粧ひにほひ とめき」	文政(1818~30)後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	170	後期
溪斎英泉	鯉の滝登り襦袢の花魁	文政(1818~30)後期~天保(1830~44)前期	千葉市美術館	171	前期
歌川豊国(三代)[国貞]	「扇屋内 花扇」	文政(1818~30)後期	足立区立郷土博物館	172	前期

作者	作品名	制作年／時代	所蔵	図録番号	展示期間
歌川豊国(三代)[国貞]	「新吉原京町臺丁目角海老屋内八千代」	天保4年(1833)頃	足立区立郷土博物館	173	前期
	結髪雛形「勝山」	昭和時代20世紀	ポーラ文化研究所	174-1	通期
	結髪雛形「元禄烏田鷗髻」	昭和時代20世紀	ポーラ文化研究所	174-2	通期
	結髪雛形「横兵庫」	昭和時代20世紀	ポーラ文化研究所	174-3	通期
	結髪雛形「禿烏田」	昭和時代20世紀	ポーラ文化研究所	174-4	通期
金錦佐恵流	『当世風俗通』	安永2年(1773)	東京藝術大学附属図書館	175	通期(端画替え)
歌川豊国	「河岸見世」『絵本時世粧』	享和2年(1802)	太田記念美術館	88	後期
歌川国貞	三ヶ月お仙つぼね見世之図	文化(1804~18)後期	静嘉堂文庫美術館	89	後期
歌川国貞	「北国五色墨」	文化12年(1815)	静嘉堂文庫美術館	90	前期
鳥居清長	三囲の神詣	天明8年(1788)	大英博物館	180	通期
勝川春潮	土手下遊山船の美人	寛政3~6年(1791~94)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	181	前期
勝川春潮	日本堤遊歩	天明(1781~89)後期	千葉市美術館	182	後期
	吉原風俗蒔絵提重	江戸時代19世紀	サントリー美術館	183	通期
歌川広重	「名所江戸百景 浅草田雨酉の町詣」	安政4年(1857)	東京藝術大学	223	通期
菊川英山	「風流逢身八契 夕きりの暮雪」	文化(1804~18)頃	たばこと塩の博物館	224	前期
菊川英山	「青楼行事八景 居続の暮雪」	文化(1804~18)末期~文政(1818~30)初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	225	後期
歌川広重	「江戸名所 雪」(吉原の三景の中)	嘉永元~2年(1848~49)	神奈川県立歴史博物館	226	後期
歌川広重	「東都名所 吉原雪の朝」	嘉永(1848~54)初期	神奈川県立歴史博物館	227	前期

第三会場<sup>3-8</sup> 仮宅、後朝の別れ

3階

	「吉原地震焼亡之図」	安政2年(1855)	たばこと塩の博物館	184	前期
鳥居清長	当世遊里美人合 又江	天明4年(1784)	山口県立萩美術館・浦上記念館	185	後期
歌川国貞	新吉原仮宅光景	文政10年(1827)~天保(1830~44)頃	東京都江戸東京博物館	186	前期
	仮宅見世附の図	安政(1854~60)~慶応(1865~68)頃	たばこと塩の博物館	187	後期
	隅田川岸吉原(吉原仮宅図)	弘化2年(1845)	東京都江戸東京博物館	188	前期
	富ヶ岡花の曙(吉原仮宅図)	弘化2年(1845)	東京都江戸東京博物館	189	後期
	梅素亭玄魚	新吉原仮宅便覧	安政2年(1855)	東京都江戸東京博物館	190
溪斎英泉	後朝の別れ	天保(1830~44)頃	千葉市美術館	101	前期
歌川広重	「名所江戸百景 廓中東雲」	安政4年(1857)	東京藝術大学	102	通期
歌川広重	「東都名所 新吉原朝桜之図」	天保2年(1831)頃	太田記念美術館	103	後期
歌川広重	「東都名所 新吉原日本堤衣紋坂曙」	天保(1830~44)頃	太田記念美術館	104	前期
歌川広重	「東都名所 新吉原日本堤衣紋坂曙」	天保(1830~44)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	105	後期
葛飾北斎	「百人一首 うばが絵説 藤原道信朝臣」	天保6年(1835)頃	千葉市美術館	106	前期

清掻演奏 東音味見純

会場マップ・順路 / 第三会場, 第四会場

東京藝術大学大学美術館

